

活線状態での電力機器診断

KOBELCO
神戸製鋼グループ

部分放電検出装置による電力機器診断。

概要

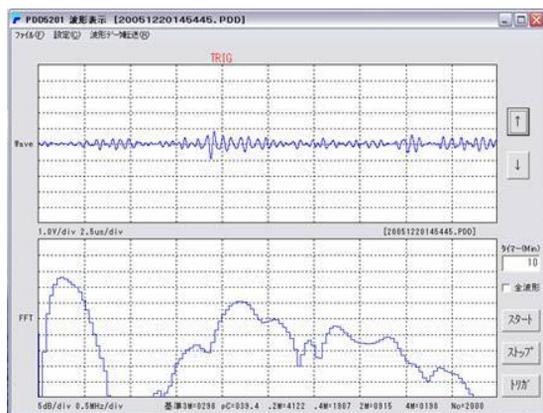
本体写真



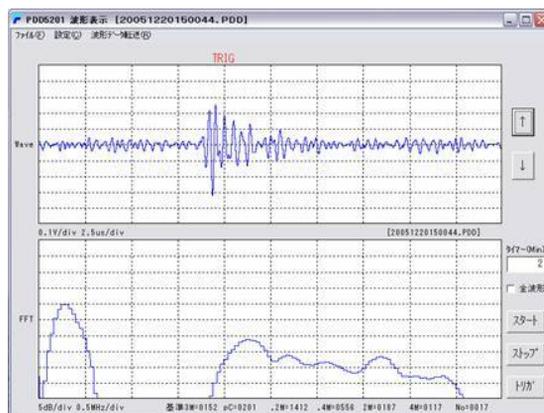
診断風景



診断事例(Ⅰ) 通常のノイズ波形
正常波形



診断事例(Ⅱ) 部分放電波形
異常波形



特徴

本測定作業は、ケーブル、モーターなど電力機器の絶縁体中に発生する異常信号(部分放電)を活線で診断する作業です。

特に、高圧電気設備に於いては連続操業の設備を停止しての点検・診断が出来ない状況下でも活線状態で安全かつ正確に、異常をいち早く検知することができます。